西村証券 企業調査速報

2024/12/04

[金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第26号：加入協会…日本証券業協会]

ニチダイ（コード 6467）

◆各決算期の中間期業績推移(連結)

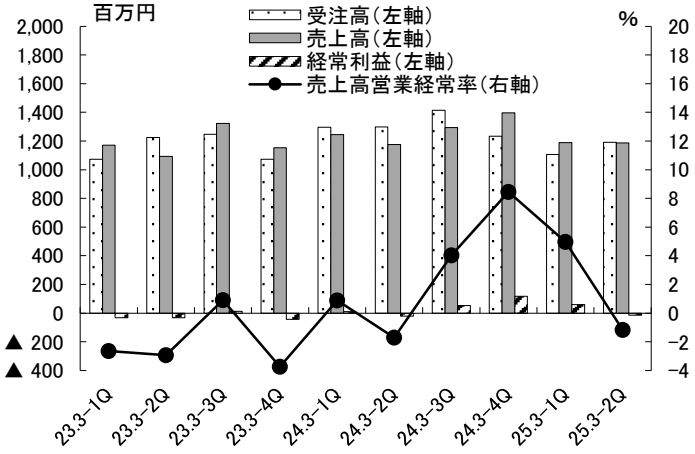
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	6,788	255	15.7	5.0	380	▲310	346	3,573
23.3	5,248	▲143	▲16.7	4.0	190	▲276	▲89	3,825
24.3	5,426	▲188	▲18.6	4.0	184	▲168	220	4,146
25.3	5,842	70	2.6	2.0	621	▲336	▲66	3,370

◆通期業績推移(連結)（25.3 予は会社側発表値）

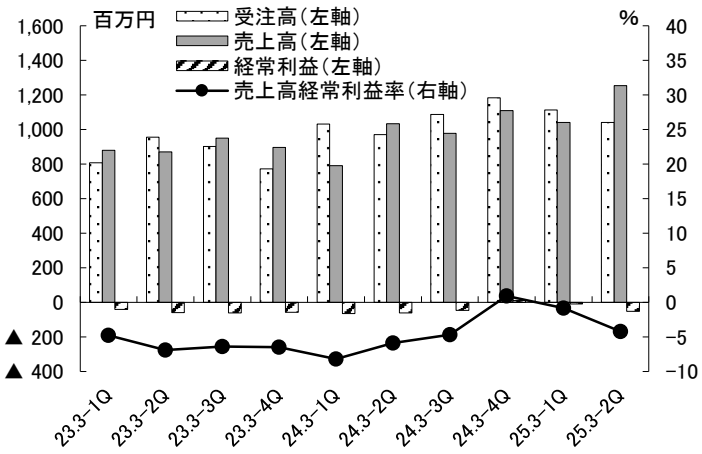
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	12,301	217	▲68.4	8.0	699	▲586	504	3,767
23.3	10,847	▲202	▲53.6	6.0	208	▲467	89	3,800
24.3	11,323	▲42	5.0	6.0	740	▲491	▲1,133	3,046
25.3予	11,900	80	5.5	6.0	－	－	－	－

（CF＝ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円）

四半期(Q)ごとの金型事業の業績推移



四半期(Q)ごとの精密部品事業の業績推移



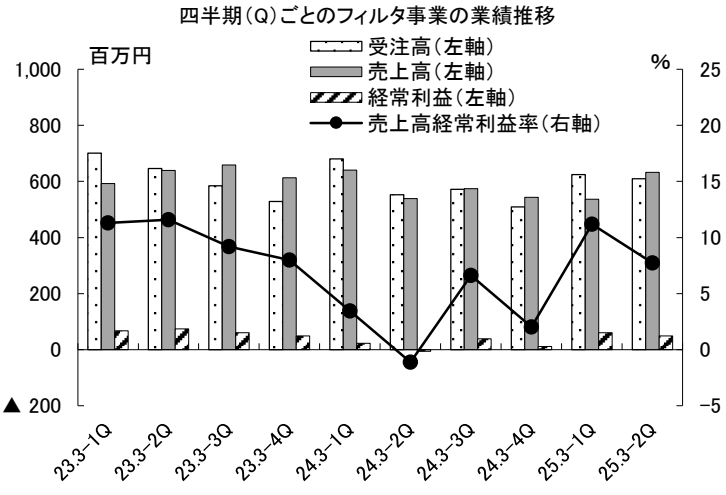
25 年 3 月期中間期の業績概況…25 年 3 月期の中間期（24 年 4～9 月）は、金型事業及びフィルタ事業が軟調に推移したものの、精密部品事業で国内・海外ともにターボチャージャー部品の販売が伸びたことから、前年同期に比べて売上高が約 8%増加。フィルタ事業の機種構成の変化による増益や、精密部品事業の損失幅縮小などにより、営業損益は黒字回復となった。

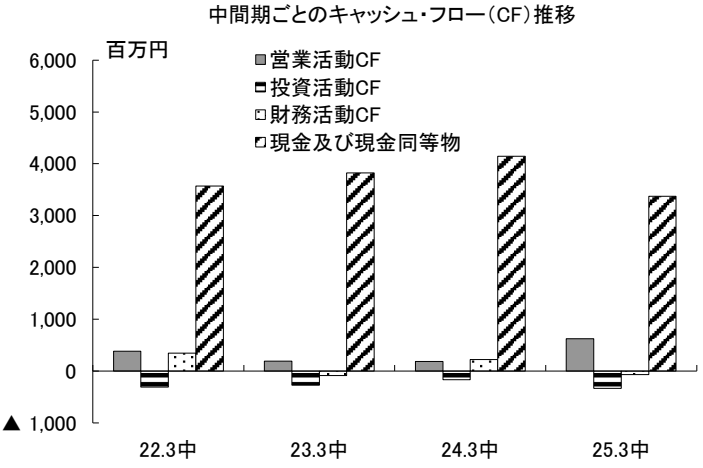
当期の業績は、受注高 56 億 8,900 万円（前年同期比 2.5%減）、売上高 58 億 4,200 万円（同 7.7%増）、営業利益 7,000 万円（前年同期は 1 億 8,800 万円の損失）、経常利益 9,200 万円（同 1 億 1,900 万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純利益 2,300 万円（同 1 億 6,800 万円の損失）となった。

事業セグメント別で、受注高は、金型事業 22 億 9,800 万円（前年同期比 11.4%減）、精密部品事業 21 億 5,500 万円（同 7.5%増）、フィルタ事業 12 億 3,500 万円（同 0.1%増）。売上高は、金型事業 23 億 7,700 万円（同 1.8%減）、精密部品事業 22 億 9,400 万円（同 25.6%増）、フィルタ事業 11 億 7,000 万円（同 0.8%減）。経常利益は、金型事業 4,400 万円（前年同期は 800 万円の損失）、精密部品事業 6,200 万円の損失（前年同期は 1 億 2,700 万円の損失）、フィルタ事業 1 億 1,000 万円（前年同期比 577.0%増）となった。

事業セグメント別の国内外売上では、前年同期比で金型事業が国内 6.2%増、海外 17.5%減に、

精密部品事業が国内 29.1%増、海外 20.7%増に、フィルタ事業が国内 10.5%減、海外 26.2%増となった。金型事業では、国内においては新規需要の掘り起こしなどによって売上が増加したものの、海外では主にアジア地域での低迷により売上が減少。固定費の抑制などから経常利益は中間期ベースで黒字化したものの、四半期（3 カ月）ベースでは第 2 四半期（24 年 7～9 月）に赤字となった。精密部品事業では、国内と海外（特にアジア向け）で主力機種の販売が伸び、経常損益の損失幅も縮小した。フィルタ事業では、海外においてはアジア、欧州向けの売上が増加した一方、国内においては一部主力ユーザーの需要低下によって売上が減少。経常利益については機種構成の変化により前年同期に比べて大きく増加しており、四半期ベースでも前期の第 2 四半期（23 年 7～9 月）を底に回復基調となっている。





キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物残高は 33 億 7,000 万円（前年同期末比 18.7%減）となった。営業活動 CF は、税金等調整前中間純利益 9,200 万円（前年同期は 1 億 1,600 万円の損失）、減価償却費 2 億 8,700 万円（前年同期比 4.7%増）、売上債権の減少額 1 億 6,500 万円（前年同期は増加額 2 億 6,700 万円）、棚卸資産の減少額 8,600 万円（前年同期比 45.9%減）、仕入債務の増加額 100 万円（同 97.7%減）、法人税等の支払額 2,800 万円（同 61.1%減）などにより、6 億 2,100 万円の収入（同 237.5%増）となった。投資活動 CF は、有形固定資産の取得による支出 3 億 1,200 万円（同 23.8%増）、無形固定資産の取得による支出 5,500 万円（同 587.5%増）などにより、3 億 3,600 万円の支出（同 100.0%増）となった。財務活動 CF は、長短借入金の借入れ及び返済による差引支出額 3,800 万円（前年同期は 2 億 7,800 万円の収入）、配当金の支払額 1,800 万円（前年同期比 1.0%減）などにより、6,600 万円の支出（前年同期は 2 億 2,000 万円の収入）になった。

25 年 3 月期の通期業績見通し…25 年 3 月期の通期業績については、24 年 5 月 1 日付けの会社側発表値から変更は無く、売上高 119 億円（前期比 5.1%増）、営業利益 8,000 万円（前期は 4,200 万円の損失）、経常利益 1 億円（前期比 54.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 5,000 万円（同 11.1%増）の見通し。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。